

被災地と大学の交流から始める“復幸再美”プロジェクト 公開授業

震災復興と農村計画



この公開授業では、宮城県東松島市で被害に遭われた方々とその復旧復興にあたる行政関係者をお招きし、震災当時の様子や復旧・復興の現状と課題について話題提供をしていただきます。現地に暮らす方々の肉声を聴き、意見交換を重ねることで、被災地の“復幸再美”に向けた取り組みについて考える機会にしたいと思います。復旧復興、地域再生、農業農村整備、農村計画などに興味がある方々の参加をお待ちしています。

◆2011年3月11日午後2時46分、その時、私は。

高橋 富夫さん(東松島市大曲地区 ほ場整備事業実行委員会 委員長)

◆私が体験した津波と救援の現場から

横山 良昭さん(JAいしのまき 矢本営農経済センター センター長代理)

◆宮城県における震災の復旧・復興の最前線から

太田 恒治さん(宮城県東部地方振興事務所 技術主幹)

猪股 秀匡さん(宮城県東部地方振興事務所 主任主査)

◆意見交換 : 話題提供者と受講生で意見交換を行います。

司会: 田村 孝浩(宇都宮大学農学部)



2013年1月15日(火) 13時~15時
国際学部E棟1351教室

■参加費無料。どなたでも参加できます。■参加申し込み・問い合わせはE-mailで受付。氏名・所属を明記のうえ tamurat@cc.utsunomiya-u.ac.jp (担当: 農業環境工学科 田村孝浩) へ■参加申し込み順で定員(60名)になり次第、受付終了。■会場となる教室には座席以外のスペースがほとんどありません。参加申し込みせずに会場にお越しの場合、入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。■この公開授業は、農業環境工学科が採択を受けた標記プロジェクトのもと、学科の講義科目と連携して実施するものです。■携帯電話・スマートフォン等からの申し込みはコチラ

